

11
月



美園小だより

令和 7年10月30日

さいたま市立美園小学校

第184号 児童数 1042名

Tel 048(812)6611

Fax 048(878)6660

いろいろな「桃太郎」

校長 河野 秀樹



（像前の桃太郎像）

今年4月に実施された全国学力・学習状況調査で、「読書は好きですか」の設問に肯定的な回答をした本校の6年生の割合は、全国や県と比べて良好でした。子どもたちはよく学校の図書館も利用していて、いろいろな種類の本を読んでいます。現在本校では、読書月間（10/29～11/28）を実施中です。

以前、私は「桃太郎伝説」ゆかりの岡山県に行ったことがあります。駅を降りると、目の前に桃太郎の銅像がありました。岡山県立美術館には、江戸時代に描かれた「桃太郎の絵巻」上下2巻が所蔵されており、その複製を触りながら間近で見ました。そのお話では、「川上から流れてきた桃を食べたおじいさんとおばあさんは若返り、男の子が生まれた」とありました。

私が幼い頃に聞いていた話は、「おばあさんが川から流れてきた大きな桃を持ち帰り、おじいさんと一緒に切ると、中から男の子が生まれ『桃太郎』と名付けた」というものでした。

五味太郎氏の描いた平成の「桃太郎」では、鬼ヶ島に鬼を退治に行っても成敗するのではなく、仲良くなって皆が平和に暮らしていたという終わり方になっています。室町時代に成立したと言われる「桃太郎」の話は、時代や場所によって少し違ってきます。

先日、横浜にあるニュースパーク（日本新聞博物館）を見学しました。その常設展示室「情報社会と新聞」で、昔話「桃太郎」の映像が流れていました。一つは、桃太郎がしっぽを巻いて鬼から逃げている場面です。この映像は、桃太郎が追いかけているように見えました。もう一つは、桃太郎が小鬼に襲い掛かっている場面です。小鬼がかわいそうに見えました。次に、桃太郎が悪い鬼を退治しに鬼ヶ島にやって来たという、桃太郎の視点から場面を見てみると、桃太郎は正義の味方で、鬼たちが悪者に見えてきます。逆に鬼からの視点で見てみると、平和に楽しく暮らしていた鬼ヶ島に、桃太郎が襲いにきたというように見えます。映像の切り方や立場の違いで、見え方が変わってくるのが分かりました。

私たちは、たくさんの情報に囲まれながら生活しています。その中には、間違った情報や不確かな情報もあります。一つの情報だけでは、物事の全体が伝わらないことがあり、同じ出来事でも見せ方で全く別の印象を与えることがあります。だからこそ、情報の出典はどこなのか、また送り手のねらいは何なのかを想像し、いくつかの情報を比べることで、情報と上手に付き合うことが大切なのだと思います。

参考：「ももたろう」 五味太郎 絵本館